

民報あばしり

NO. 989

2014. 10. 5

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二一四四五八
F 四三二一四四五七



議員定数削減案が継続審査へ

9月12日に突然、網走市議会議員定数削減条例案が議長あてに提出されました。提出者は栗田政男氏で、賛同者は七夕和繁氏、山田俊美氏、立崎聡一氏、井戸達也氏、小沢陽平氏、佐々木玲子氏、高橋政行氏、工藤英治氏、古都宣裕氏、空英雄氏、近藤憲治氏の12名で、定数を20名から16名に削減するというものです。

この提案の前に、昨年8月、議会運営委員会に小田部議長から①議員定数②議員報酬③議会基本条例④市議会だより編集委員会のあり方⑤郵送による陳情等の取扱いについて、5項目が諮問され、検討してきました。

議員定数については、今年の8月27日に集中審議をしましたが、削減すべきとの意見と、民意を市政に反映させるためには、削減すべきでないとの意見に分かれ合意には至りませんでした。そして、今期の任期満了までに定数に対する結論を出すことを確認しました。



議会運営委員会の七夕委員長が、その内容を9日の本会議に中間報告をし、全議員の了承を得ました。

いったいなぜ？

ところが、3日後の12日に突然、提出者、栗田議員と賛同者11名で議員定数削減条例案を提出したのです。

いったい中間報告は何だったのか。さらに、定数問題は全議員と全有権者に係わる大きな問題なのに日本共産党と民主市民ネットには、何の相談もありませんでした。数を力に強引に通すやり方は議会制民主主義に背くものです。

また、定数16名に削減すれば特定の支持母体を持つ候補が有利になり、組織を持たない候補は厳しい戦いを余儀なくされ、民意が反映されにくくなります。

さらに市民のみなさんが議員に立候補できる参政権が大きく制限されます。市政をチェックする機能が大幅に弱くなります。

9月議会では継続審査になりませんが、今後、継続して審議することになります。定数削減をさせないために党議員団は最後まで頑張ります。

いよいよ東奔西走

9月議会が終わりました。補正予算や条例改正の委員会審議、3日間にわたる一般質問、その後の決算委員会での審議など、3月の第1回定例会とは違う準備をしなければならない議会です。

特に決算は、来年度の予算に生かすという議会の基本中の基本審議ですから、当然、与野党問わず活発な審査がなければ二元代表制の一翼を担う議会としての役割が問われます。

が今回の審議経過を見ると、定数削減条例を提出した若手やベテラン議員が今一つ質問意欲に欠け、議会の存在価値が問われる感じを受けました。

菊地ひろし

泳げない人にとって、水の中ほど怖いものはありませんが、健康な体をつくったり維持するには、プールは大変すぐれていると思います。私も若いころ腰痛解消のためにプールに通いました。それは利用料が無料(標茶町)だったからです。

さて、来年には新しく「市民健康プール」がオープンします。9月議会では、「市民健康プール」の条例改正が審議される総務文教委員会で、プール利用者・指導者など関係者から意見、要望を聞く機会が設けられました。「特に障害者、高齢者、学生が使いやすい、目的に合ったプールにするために活かして欲しい」の意見は今後の運用で生かされなければならないと思います。

松浦奮戦も

9月議会はとても疲れました。9日に開会して11日、12日には各常任委員会が開かれ、補正案や条例案が審査されました。

査されました。私の所属する生活福祉委員内は、「子ども子育て新支援法」に係わって条例が出されていたため、下調べが大変でした。この条例案には、あまりにも問題があるため反対しました。

さあ、一般質問の仕上げをしようとしていたところに、定数削減条例案が提出されたとの情報に、対応策で「てんてこ舞い」になりながら一般質問、そして決算審査の準備と3日間の決算審査でした。これまで一番疲れた議会でした。

流水

「異次元」という言葉を辞書で調べたのですが載っていません。それは、と、「広辞苑」で調べたのですが載っていないのです。仕方がないので「異」と「次元」を辞書で別々に調べて組み合わせると、「物事を考えたり、行ったりする時の立場が他とはまるで違う」ということになりそうです。

「次元の高い話」なども使われますから、「他よりすぐれている」という意味も含まれるのでしよう▼「異次元の金融政策」という言葉がずいぶん喧伝されました。安倍首相や日銀総裁の言葉です。何が違い何がすぐれているのでしょうか。私たちの暮らしや経済は少しも良くなっていない▼最近、また安倍首相は「異次元の」と言い始めました。「豊かで明るく元気な」「地方創生」を「異次元」の政策で実現するというのです。

「景気回復の波を全国隅々まで届け、人口減少を克服」とのことですが、そもそも景気回復していませんし：▼そういうえばこの方は「美しい日本」とか「日本をとりもどす」とか「強い日本」とか耳障りのより言葉を使うのが得意です。でも、どの言葉も私たち国民とはまさしく「異次元」。「美しい日本」は天皇中心の戦前の日本であり、強い軍隊を持ち、戦争できる国にするのが「とりもどす」中身のよさに思えてなりません▼「いやだなあ」「キナ臭いなあ」。国民の当たり前の考えと、首相の考えることが「異次元」では国民は不幸になるばかりです(〇)